

48 「予防・予察」に重点を置いた新たな総合的病害虫管理体系の確立

【令和4年度予算概算決定額 2,942（2,281）百万円の内数】
（令和3年度補正予算額 2,518百万円の内数）

<対策のポイント>

効果的な病害虫防除による**生産力の向上**と、環境負荷の軽減を通じた**農業生産の持続性の確保の両立**に資する、**総合的病害虫管理※**を推進していくための取組を支援します。

※ 化学農薬のみに依存せず、病害虫が発生しにくい生産条件の整備（予防）や病害虫の発生予測（予察）を組み合わせた病害虫管理

<政策目標>

○ 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減〔令和32年まで〕

○ 「予防・予察」に重点を置いた新たな総合的病害虫管理体系の確立による、生産力の向上と農業生産の持続性の確保の両立

<事業の内容>

1. みどりの食料システム戦略推進総合対策のうちグリーンな栽培体系への転換サポート
837（－）百万円の内数

農業生産現場における**総合的病害虫管理の推進**に必要な**土壌くん蒸剤の代替技術等の産地に適した技術の検証**、**栽培マニュアルの策定**等の取組を支援します。

2. 食料安定生産に資する新たな病害虫危機管理対策・体制の構築事業のうち病害虫発生予察・防除体制の高度化事業
64（71）百万円の内数

① ドローンによるセンシング、IoT等の活用により、幅広い地域の**病害虫情報を迅速に収集**し、AIを活用した発生予測シミュレーションモデルを用いて**精度の高い発生予察を行い、迅速に情報を発出**するための取組を支援します。

② 新たに開発された防除技術を組み入れた**全国的に活用可能な総合的病害虫管理の技術体系を確立**するため、複数県で**連携して行う技術試験**を支援します。

3. 総合的病害虫管理の普及のための指導者の育成
2,041（2,210）百万円の内数

総合的病害虫管理の普及のため、指導者の育成に必要な**研修・講習等の実施**を支援します。

<事業の流れ>

国

交付（定額）

都道府県

委託

協議会

交付（1/2以内）

民間団体等

都道府県等

（1の事業）

（2の事業）

（3の事業）

<事業イメージ>

「予防・予察」に重点を置いた新たな総合的病害虫管理体系の確立

（例）土壌くん蒸剤の代替技術の導入

連作により土壌くん蒸のみでは抑えられない土壌病害の常発

技術の検証

・緑肥の導入
・輪作・休耕の実施
・土壌還元消毒の利用等

土壌くん蒸剤の低減

栽培マニュアル（栽培暦、防除暦）の策定

病害虫発生予察・防除体制の高度化

・ドローン、IoT等を活用することで情報量を充実

ドローン、IoT等を活用した情報収集

・AIを活用した発生予測シミュレーションモデルにより、発生予察を迅速化・精緻化

シミュレーションモデルによる発生予測

迅速・精緻な発生予察情報の提供

・複数県で総合的病害虫管理による防除体系を検討・確立する体制により、新技術の現場への普及を加速化

A県

天敵活用成果

B県

効果の高い農薬の知見

C県

防虫ネット活用知見

生産力向上と農業生産の持続性の確保の両立

【お問い合わせ先】消費・安全局植物防疫課（03-3502-3382）